

親子で見て、さわって、感じて—— “炎”の体験を推奨する情報誌『ひととひ』



京葉ガスはこのほど、「人」と「火」のかかわりをテーマにした情報誌『ひととひ』の第2号を発行しました（写真＝表紙）。10月25日から開催する「ガス展2013」の各会場に配置し、ご来場のお客さまは無料でお持ち帰りいただけます（※）。

今回発行の『ひととひ』は、「親子で考える暮らしの中の火」をテーマとし、身近で日ごろの暮らしに欠かせない「火」に関する情報をさまざまな角度からお届けします。

親子が一緒になって理解を深め、興味を持つだけでなく、料理などを通じ「火」を扱っていく中で五感を活用しながら、親子のコミュニケーションをより深めていただくことを目指して編集しました。

楽しみながら味や色（視覚）、柔らかさ（触覚）、香り（嗅覚）の変化を簡単に体験できる一例として焼きマシュマロを紹介しているほか、茹でる、蒸すといった工程での五感を活用するポイントなどを説明。また、料理をするときは熱い鍋に注意する、火のそばから離れない、換気扇を回す——といった基本的な注意事項などを掲載しました。

『ひととひ』は市川、船橋、松戸の京葉ガスショールームと京葉ガスサービスショップ（32店舗）に配置するほか、10月25日から11月4日まではそのほかのガス展会場でも入手いただけます（※）。

※在庫がなくなり次第、終了とさせていただきます。

